

令和元年度第4回 公益社団法人 静岡県作業療法士会 理事会議事録

1. 開催日時 令和元年10月5日 午後0時10分～ 4時55分
2. 開催場所 公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町9-5 第二大石ビル8F）
3. 出席者（順不同）

理事総数	15名				
出席理事	11名				
代表理事	岡庭 隆門（議長）				
理 事	大庭 俊裕	藤田 さより	林 正春	秋山 尚也	大石 裕也
	岡本 博行	伊井 玄	川口 恭子	建木 健	村岡 健史
監 事	小笠原 誠	遠藤 浩之	秋山 恭延		
事務局	市川 志帆	高岡 留美	武内 元		
4. 決議事項
 - 第1号議案 会員情報更新促進について
 - 第2号議案 東海北陸リーダー養成研修会参加者について
 - 第3号議案 広報の手続きと関係規約に関して
 - 第4号議案 規約検討委員会より提案事項に関して
 - 第5号議案 各ワーキングより提案事項に関して
 - 第6号議案 その他（各部局からの決議事項）
5. 報告事項
 - 報告第1号 メディメッセージ2019実施報告
 - 報告第2号 学会進捗（第19回東海北陸作業療法学会、第33回県士会学会）
 - 報告第3号 各部報告（職務執行状況の報告）
 - 報告第4号 その他
6. 開会
事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。
7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）
 - 第1号議案 会員情報更新促進について
協会HPにて登録。全ての内容を入力してほしいと協会より要望あり、現在200名（101施設）程度未入力者がいる。⇒地区担当理事が振り分けして各自担当施設へ連絡
 - 第2号議案 東海北陸リーダー養成研修会参加者について
人材発掘の目的で人選していたが、今回は1回目の参加者を選出 ⇒ 承認
 - 第3号議案 広報の手続きと関係規約に関して
 - 1) 求人広告について公的機関より依頼。増税等で料金の内訳や前金を明記してほしいと相談があった。 ⇒ 外税とし他事業の価格提示と整合性を図る。
 - 2) 外部からの問い合わせ窓口やメーリング等の情報（内容）の流し方について課題あり。
⇒ 次回大石理事より提案
 - 第4号議案 規約検討委員会より提案事項に関して
必要な帳票のすり合わせを10月26日に総務部会を開催
 - 第5号議案 各ワーキングより提案事項に関して
 - 1) 中長期ビジョン
今年度中に会員へアンケート調査を行う予定（文書は修正・検討）
内容は基本情報、学術関連、福利厚生関連、広報関連など5項目
 - 2) ライフワークバランス
アンケート等で情報収集を行う。参加しやすい研修会（web研修会や平日開催研修会など）
再就職支援として看護協会の支援内容を参考に検討

第6号議案 その他（各部局からの決議事項）

1) 地域事業部

①地域包括ケアシステム推進検討委員会（仮）設置の検討

三団体協議会の地域包括ケアシステム推進委員会の動向が不透明であり、先の OT 協会主催地域包括ケア会議・総合事業に関する人材育成研修会では、他士会と比較し活動状況が遅れている。

そこで、検討委員会を設置し、会員の地域包括ケアシステム参画への支援体制を作りたい。派遣できる人材の数も少ないため広報の方法も検討し、県政や医師会とのつながりも考慮し登録者数を増やしていくことが喫緊の課題。

⇒ 地域事業部内に特設委員会として設置（今年度1回委員会開催）。

②沼津ふくしまつり（10/14）、御前崎市ふれあい広場（10/19）の会員の協力 ⇒ 承認

③チャレンジ事業：2事業の承認を受けたが、補正予算を組む必要がある ⇒ 承認

2) 学術部

部局としての口座開設について ⇒ 財務部でたたき台作成するため継続審議

3) 教育部

臨床実習指導者講習会：10/12・13開催。313,000 補正予算を計上したい ⇒ 承認

新人オリエンテーション：4/19 仮予定

4) 事務局

・十全オアシスクリニック開設記念講演会・内覧会出席依頼 ⇒ 村岡副会長出席

5) 第33回静岡県作業療法学会

・プログラム策定において定時総会を1日目の午前中に開催したいとの意向。

学会の意向にも沿いたいが、総会の出席者低迷の課題も考慮したい

⇒ 詳細を提示し総会運営委員会と理事会にて検討

6) ピクトメールでのメール配信について

①ピクトメールの新たな購入 ⇒ 承認

②各地区のメール網について整理。西部地区のピクトメールについて審議

⇒ 東部・中部地区理事が実際の運用を体験し検討。

8. 報告事項

報告第1号 メディメッセージ2019実施報告

メディ・メッセージ（9/28・29）が大盛況だった。次年度は沼津市での開催となる。課題整理して、運営スタッフや協力部局を検討していく。

報告第2号 学会進捗

1) 第19回東海北陸作業療法学会

演題発表：128 演題。査読は滞りなく遂行できた。査読の選出や方法の決まりも必要。

ラジオ出演（10/17）秋山大会長、村岡実行委員長

学会誌：近日中に座長が決まり校了となる。

賛助：実行委員の関連施設だけでなく、幅広く賛助広報をしてほしいという意見あり。

毎年学会で出た課題をタイムリーに引き継げない、担当の部局がない等の課題あり。

⇒ 学術部でもその点で検討が進んでいる。データや文書など検討を進める。

消耗什器・備品についての管理は事務局総務部にて検討。

後援依頼等の文書（ひな形）の作成について進めて行くが、33回への引継ぎは連絡取る。

2) 第33回県士会学会：講演4名、演題受付期日11/30（現状0題）、実行委員募集

⇒ 演題登録について、地区理事中心に呼びかける

報告第3号 各部報告（職務執行状況の報告）

1) 財務部：7・8月分の会計突合作業実施。上半期分（9月まで）予算執行状況を確認中。

12月各部次年度の事業計画提出、1月に予算審議会、2月理事会経て予算承認。

2) 学術部：東部地区会議及び各班活動の報告

紙面以外にモビリティの研修会開催（来年2月）を予定している。

先日公安委員会、医師、OTと実務者会議があった。

3) 教育部：各種研修会の報告

4) 広報部：ホームページの業務委託をしている。HP担当の杉田氏中途退任となる。

5) 渉外部：渉外活動の報告（各地区タウンミーティング、47委員会、3団体協議会など）

6) 福利部：静岡リーダー育成研修会10/5開催

- 7) 地域事業部：・高校生施設見学、チャレンジ事業、メディ・メッセージ 2019（ノベルティを改善）について報告
・地域包括ケアシステム参画に向けた研修：11/23（静岡労政会館）
- 8) 調査部：19 回東海北陸学会参加者アンケート作成（1,200 枚）
県士会の中長期ビジョンのアンケート作成中
生活行為工夫情報モデル事業連絡会参加
- 9) 災害対策委員会
①OT 協会災害シミュレーション訓練：回答率 26%（昨年 23%）
②各種研修会の報告
- 10) 事務局
①事務所・共用部分の消防立ち入り検査 10/30 実施
②事務所ダスキン 10/28 実施
③増税に伴い 25 万円程度の支出となる
④特定費用準備資金の取り崩し後、学会準備資金をそのまま特定費用準備資金に充てる。
⇒ 積立とする（年度内の対応）
- 11) 介護ロボットシーズ・ニーズ協議会の進捗の報告
一般枠から推進枠での応募（10/4 提出）予算額 120 万円。通れば次のステップへ進む
- 12) 地区
①西部地区：メール網 10 件配信
②中部地区：タウンミーティング 24 名参加
③東部地区：メール網 23 件配信
- 報告第 4 号 その他：特になし

9. 第 5 回理事会：12 月 14 日 13 時～

令和元年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備 考	主な行事
第 1 回	4 月	21 日（日）	新人オリエンテーション時	
第 2 回	6 月	22 日	拡大理事会（新旧役員）	6/15 総会
第 3 回	8 月	3 日	納涼会	
第 4 回	10 月	5 日		
第 5 回	12 月	14 日	拡大理事会、忘年会	
第 6 回	2 月	8 日、15 日、22 日、29 日		1～2 日（47 委員会）
臨時理事会	3 月	20 日、21 日、22 日	年度末の会計	

10. 議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後 4 時 55 分、閉会を宣言した。
以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者 武内 元

議事録署名人

・岡庭 隆門 印

・三井 忍 印

・村岡 健史 印

・大庭 俊裕 印

・岡本 博行 印

・伊井 玄 印

・秋山 尚也 印

・生田 純一 印

・稲葉 洋介 印

・大石 裕也 印

・川口 恭子 印

・齊藤 洋平 印

・建木 健 印

・林 正春 印

・藤田 さより 印